

ゆ

すべてに ^{やさ} 優しく

いつまでも ^{ゆとり} 悠 ある

やすらぎの ^{ばしょ} 邑 を実現します

ゆ



2023
春 号

「今日も楽しかった」と
言っていただけのように…

令和5年度指針

社会福祉法人 杉和会 理事長 若山 宏

コロナ感染症から3年の月日が経ち、ようやく落ち着きを取り戻す気配はありますが、高齢者施設においてはまだまだ油断できる状況では無く、日常生活において基本的感染対策を怠る事無く日々の生活を豊かにしていく為は何を成すべきかを職員一同が考えながら実践していく。その中で法人理念である「すべてに優(やさ)しく いつまでも悠(ゆとり)ある やすらぎの邑(ぼしよ)を実現します」をより充実させていく。その為には業務の省力化の為にロボット・ICTの導入を視野に入れ余裕が出来た時間を今迄以上に入居者さんとの接点が持てる様にしていく。

また、ウクライナ侵攻に端を発しての光熱水費を筆頭にした未曾有の物価高騰に対しては徹底的に無駄を無くしながらも入居者さんにとって必要な企画については積極的に取り組んでいくメリハリのある資金活用をしていく。

3拠点施設になり3年目を迎える今、それぞれの施設の良さをお互いに共有できる為の仕組み作りにも取り組んでいきたいと考えている。その為にも本部機能の充実に力を入れていく。

地域と共に歩む中で今まで以上に地域の思いを法人が持っている特性を生かして活動していく事により、地域の中でより信頼を得ることに邁進していく。

関ヶ原 指針

研修委員会

委員長 西村 志織

研修の目的は、研修で学んだことを現場で活かすことです。研修で知識を得て現場で実践しながら技術を学び、繰り返し行うことで身に付けていきます。少人数での研修や、ラーニングの活用をした内部研修と外部研修の実施を継続して行っていく予定です。また、外国人スタッフが増えたことに対してより分かりやすい研修を考えて実施、取り組んでいきます。職員一人一人の成長を促し、入居者様・利用者様に対してより良いケアの提供を行えるよう取り組んでいきます。

行事委員会

委員長 伊藤 岳彦

年間を通して季節感のある企画を実施、コロナウイルス等の状況を考慮しながら、可能な限り家族や地域と共に取り組んでいくことで、入居者様・利用者様により多くの笑顔を頂ける様取り組んでいきます。

事故報告委員会

委員長 北島 賢治

昨年度から取り組んでいる気づきシートを本年度も継続して取り組んでいきます。気づきシートを提出して終わりではなく、施設全体でシートを共有できるように職員の方が気づかれたことを全館に発信していきます。そして、多くの職員の方に気づきを促して施設内での事故が1件でも少なくなることを目指します。

地域貢献委員会

委員長 西川 裕子

昨年は、コロナ禍で、地域の行事に参加する事が難しい状況でした。今年度は、夏祭り・神輿行列・ポップコーン【琴】の演奏会など、少しずつ地域の方と交流できるようにしていきたいと思っています。積極的に地域の行事にも参加していきたいと思っています。

また、ボランティア活動を充実し、入居者様の笑顔がたくさんみられるようにしていきたいです。

食事委員会

委員長 桐山寿美子

『食事の時間を楽しく、安心、安全に！』食事の時間は1年365日、1日朝昼晩3回あります。ただ、食べるだけでなく、この時間をより楽しく充実したものになるよう、また、ごなたにも、安心、安全に食べていただけるよう心配りをしていきます。

入浴委員会

委員長 谷田 貴都

物品や入浴機器の確認を定期的に行い利用者様に安心、安全に入浴出来るようにしていきます。毎月、季節湯を実施し季節を感じて頂き、入浴を楽しみにして頂けるようにします。全職員が統一した入浴介助が出来るようになります。長年勤務されている職員には確認を行います。新人職員、外国人職員については法人の入浴介助マニュアルに従い指導を行い正しい入浴介助が出来るようにします。

排泄委員会

委員長 吉田 佳子

入居者様に笑顔で快適に過ごしていただける排泄ケアを目指します。引き続き、優しく丁寧な言葉かけや清潔な環境作りに努めていきます。また「尿汚染を減らす」を目標とし、入居者様お一人お一人に合った排泄ケア用品や介助時間、ケア方法を提供できるように取り組んでいきます。

防災委員会

委員長 伊藤 仁志

近年、毎年のように全国各地で地震、集中豪雨、台風など多数の災害が起こり、甚大な被害が発生しています。この地域や当施設でも他人事ではなく、来るべき有事の際に、迅速・的確な対応をすることが、災害による被害を軽減することにつながります。

当委員会を中心に、利用者及び職員も含め、人命の保護を最優先とし、同時に施設を守りながら、業務の早期復旧を図れるよう、また、余力がある場合には近隣住民にも協力できるように、想定できるあらゆる事態に備えた対策、備蓄を行い、それに伴う訓練や研修を行うなどの活動を行います。

褥瘡委員会

委員長 小林 彩乃

褥瘡を創らないためにはどうしたらよいか。様々な方面から考える必要があります。食事が摂れていないのであれば管理栄養士に相談、全身状態が良くない場合は看護師に相談というように、他職種との連携を図りながら常に改善を目指します。褥瘡がある方は、誰もが状態を確認できるようなシートの作成、また、外国人スタッフも多いため、どのようなケアをするのか、わかりやすい指導ができるようにしていきます。

和合指針

リスク対策委員会

委員長 岩田 康嗣

事故防止の研修の実施や事故発生時の対応方法を事故発生時の指針通りに行います。また、事故が発生する前や発生に至る分析を行うことが事故防止への重要な取り組みであることを理解し取り組んでいきます。

感染対策委員会

委員長 佐藤 道夫

前年度は大規模な新型コロナ・クラスターが発生し、多くの入居者・利用者や職員の皆さんに負担をかけることになりました。感染対策の措置を再構築し、深刻なクラスターの発生予防を第一義に、感染症の全般に対処していきます。

褥瘡委員会

委員長 新田 眞也

令和4年度の褥瘡発生者は前年度と比較すると増加してしまいました。今年度は褥瘡の研修、褥瘡の予防ケアの研修などを実施し褥瘡の知識を学び、再確認する機会を作り、昨年度よりも褥瘡発生者が減少するようにケアをしていきます。



排泄委員会

委員長 浅野 理恵

排泄委員会では入居者様一人ひとりの自尊心に配慮しながらその人に合った排泄ケアを行い、入居者様が日々快適に過ごして頂けるようサポートしていきます。また、研修なども積極的にを行い職員のスキル向上にも努めていきます。

食事委員会

委員長 坪井 寿夫

イベントごとの食事はもちろん、普段召し上がって頂く食事にも心を砕いて、いつまでも美味しく楽しく「食」を食べていただけるように、食事について考え、入居者様の声を取り入れ、そして職員のスキル向上し、より良い食事を目指します。

入浴委員会

委員長 山田 晴美

入浴委員会では、入居者様個々に合わせた入浴方法を考案し、誰もが快適に安全に入浴して頂けるような環境を目指します。定期的な職員の研修を実施、季節に合わせた入浴剤や実物を取り入れて皆様が安心・安全に楽しめる入浴をしていきます。

地域貢献委員会

委員長 加藤 容子

昨年度に引き続き、職員による月に一度の施設周辺の清掃活動を継続して行い、地域の環境美化に努めます。また、昨年コロナ禍で近隣の保育園と合同開催した「作品展」をより充実させて、地域の多くの皆さまと交流が図れるようにしていきます。

行事・余暇委員会

委員長 古川 正司

福祉施設としましては変わらさずコロナに対する警戒を緩める事はありませんが、そんな中でも「楽しかったよ」「嬉しかったよ」など入居者様に感じて頂けるような行事余暇の提供を計画・実施していきます。

広報委員会

委員長 若山 誠

情報発信の充実を図る為にもSNSの本格導入に向けた検討をする為にも、昨年度からスタートした電子版の広報誌を年に3回作成していきます。また、今後ますます課題となる人材確保に向けた取り組みについても委員会として出来る事を検討していきます。

和(なごみ)指針



事故発生防止対策委員会

委員長 大岡 尚子

入所者様に安心・安全な生活を送って頂けるよう事故を未然に防ぐことを常に意識しながら、より質の高い支援を提供できるよう取り組んでいきます。PDCAサイクルを活用した研修を実施し、事故の発生原因や事故が発生した際の対処の仕方等を考え、日々の支援に生かしていきます。

災害対策委員会

委員長 武藤 朝記

委員会として災害発生に備えて入所者様が安心して生活できるために、そして職員も安心して働けるようにするためにBCPの作成を行い、避難訓練や人命救助の訓練等を行っていきます。また、地域の方々とも連携して安心して生活できる場所づくりを行っていきます。

生活上・接遇委員会

委員長 岡崎 友美

今年度より、生活上委員会と接遇委員会は並行して取り組んでいくことになりました。今以上に生活の質を向上していくため、入所者様に合わせた声掛けやコミュニケーションを大切にしたい支援を目指します。また、自立した生活を送り、生きがいを持てる環境を整えていきます。

地域貢献委員会

委員長 武藤 朝記

社会福祉法人として、地域に根差していくためにも、地元との交流をより一層深めていきたいと考えています。地元の行事に参加させていただいたり、和の行事に地元の方々を招待したりして、地域と連携できるような活動していきます。ホームページでの情報発信も積極的に行っていきます。

身体拘束等対策委員会

委員長 尾花 あかね

身体的拘束ゼロ及びサービスの質の向上を目指して教育、研修を企画し、実施していきます。日常的ケアを見直し、入所者様に対して人として、尊厳のあるケアが行われているかを検討していきます。

虐待防止対策委員会

委員長 尾花 あかね

当施設では、高齢者虐待の早期発見、早期対応に努めています。尊厳の保持、人格の尊重を重視し、「身体的虐待」「支援・介護の放棄、放任」「心理的虐待」「性的虐待」「経済的虐待」等が起こらないよう委員会を中心に職員の研修を実施します。日頃の気付きを大切にす為にも入所者様との会話の時間を大切にし、日々安心して過ごして頂けるよう虐待防止に取り組んでいきます。

感染症対策委員会

委員長 早崎 真応

入所者様、職員、施設に関わるすべての人々たちを感染から守るために感染対策、感染拡大防止に努めます。そのために、定期的な委員会、研修を行い、感染防止対策の基本的な知識、方法を全職員に周知していきます。また、感染防止対策マニュアルの見直しも行っていきます。

企画運営委員会

委員長 岡崎 友美

年間を通して様々なイベントや行事、外出支援などご利用者様の楽しめる環境づくりを行ってまいります。特に喜ばれるのは外出支援です。昨年はコロナでなかなか外出するのが難しい年でしたが、今年度は外出する機会を増やし、ご利用者様がストレスを溜めずに笑顔で過ごせるよう努めて参ります。

